

保原中央自治振興会だより

第 8 号

2.27 発行

発行責任者
会長 佐藤貞夫



会長あいさつ
佐藤 貞夫

今年度を振り返って

令和初めの輝かしい新春を迎えられた皆様に、心よりお喜びを申し上げます。また昨年の台風による豪雨で被災されました方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

昨年一番の関心事は、元号が平成から令和となり、新たな天皇皇后が誕生した事でした。令和の時代と共に、明るく希望をもち未来に向けて一層精進しようと思っていた矢先、台風の甚大な被害に複雑な想いの令和元年の出発でした。

「光陰矢の如し」、時の流れの早さを伝える言葉です。「生空しく過ごし万歳悔いゆること勿れ」と申します。この尊い人生を一日たりとも無駄にする事なく、令和の時代を少しでも価値あるものとして、過ごしていくことを決意したいと思います。

子年は新しい十二支のスタートの年。「健幸と個性が創る活力と希望溢れる ほばら」のメインスローガンのもと、共に生涯青春の心意気で、令和二年度のスタートを切って参りたいと思います。

地域探訪第4回史跡巡り

11月3日(日)、梁川町の史跡を25名の参加者で巡りました。郷土歴史研究家の遠藤利夫先生とボランティアガイド木村様の詳細な説明で、大変楽しく勉強になりました。

今回のコースは、万福寺、古町観音堂、興国寺、梁川天神社、梁川八幡神社等でした。

普段一人では入れない由緒ある御堂や仏像などを直接拝見させていただき、住職様や神主様の貴重なお話をきくこともできました。

参加された皆さんは、伊達家の歴史認識をさらに高められ満足の様子でした。



第7回歌声喫茶 11月14日(木)

29名の歌声が、千本松四郎様の軽快なアコーディオン伴奏により保原中央交流館音楽室に響きます。

今回は、今までのリクエスト特集として23曲を歌い、若き日の頃を思い出し元気をもらいました。その後、恒例の誕生日該当者のみなので祝福しました。

私たちはこの講座を通し、上手・下手は別として、声を出す(歌う)ことで感じるすつきり感が、健康の秘訣であることを実感しました。いつも笑顔で、アコーディオンを奏でる千本松講師に感謝しています。元気をありがとう。



子どもまつり 保原小 11月16日(土)

街中ダッシュin保原小学校

校庭で、総勢百十名が参加し行われました。距離は30M。元気な子どもたちは、学年毎にゴールをめざし力走しました。

一位には優勝メダルが授与され、喜びいっぱいの笑顔でした。

おもしろ科学実験教室

校庭で、ペットボトルロケット打ち上げ・火起こし。家庭科室では、巨大シャボン玉・空気砲的あて・恐怖のタイワンサソリピクリ等を行い、各コーナーとも、子どもたちの行列ができました。



蕎麦打ち体験① 9月23日(月)

渡辺欣作講師と石神・長谷川様お二人の助手の下、歴史や打ち方の説明をいただき、二八蕎麦体験をしました。楽しくそば打ちを行い、出来栄もよく天ぷらを加えた美味しい昼食会となりました。



蕎麦打ち体験② 11月23日(土)

保原を離れ、会津美里町新鶴で19名が参加し行われました。講師の先生方が、楽しい雰囲気を作ってくれたこと、自分たちの道具をおしみなく使わせていただいたことが、本場の忘れられない美味しい蕎麦となりました。



第2回笑いヨガ 12月8日(日)

講師にフィットネス研究所丹治美晶ラフターヨガティーチャーを迎え、ヨガの効果を中心に、講義と実技の指導をいただきました。笑いヨガは、①免疫力向上 ②ストレス発散 ③脳の活性化 ④若返り ⑤作業効率向上等の効果があると知られ大変好評でした。手拍子しながら、ホホ・ハハ・ホホ・ハハハ、リズムを笑いながら繰り返します。ヤッター、ヤッター、イエーイ！思わず笑いがこぼれ、身体が汗ばみました。



かど松づくり 12月15日(日)

遠藤利夫(郷土歴史研究家)が20名の参加者に指導されました。門松についての説明後、作成に移りました。難しい所もありましたが、自作の門松が完成しました。飾って新年を迎えたいです。



しめ縄づくり 12月19日(木)

遠藤利夫(郷土歴史研究家)様と幕田さん・齋藤さん・熊田さん(地域ボランティア)が、保原小学校日本文化クラブ33名の児童にしめ縄づくりを指導しました。覚えの早いのはびっくりです。



認知症を正しく知る 12月21日(土)

保原小学校講堂で、講師に保原包括センター所長・社会福祉士の森美紀さんを迎え研修会を開催。クイズで分かり易い説明があり、その後グループ毎の意見交換をし参加者は理解を深めました。



成人式 1月12日(日)

スカイパレスで二百三十余名の新人を祝しました。岐路を乗り越え一歩一歩進んで下さい。



立志式 1月23日(土)

保原体育館で市内全中学二年生の立志を祝う式が行われました。式後、バイマーさんの講演会がありました。



防災訓練

1月26日(日)、14時より仙林寺座忘庵炊事場から出火した想定で、防災訓練が行われました。

安否確認、広報訓練、通報訓練、訓練指揮、通信訓練、消火活動、救援活動等、第5分団のきびきびした行動は、訓練された成果であり安心・安全の感を得ました。

近隣の町内会(晦日一・二・三・二六・柏町)、秋葉講から約百名の参加者があり、消火器訓練の体験に真剣に取り組んでいました。

訓練を通し、自主防衛組織の必要性を再確認。今後、組織づくりを検討していきたいと思えます。



団子さし

1月14日(火)、保原幼稚園年中組と年長組さんを対象に行いました。

始めに、歴史研究家の遠藤利夫先生より団子さし由来のお話を聞き、みずぎの木に、紅白の団子、鯉や小判のせんべいをつけていきました。寂しかった木は、花が咲いたようにきれいに変身しました。



大人の料理教室「餃子づくり」

2月2日(日)、15時から保原中央交流館で、講師に大橋愛様を迎え16名が参加し行われました。

分かりやすいご指導で、みんなで楽しく調理しました。手作り餃子の味は大変美味しく、ご飯やお酒も進みそうです。ぜひ家族に作って食べさせたいです。



町内会紹介 久保町内会

安全で安心な町内会を目指して

会長 山田 健一

以前は鉄元第三町内会として活動していましたが、昭和六〇年久保町内会として発足しました。

初代会長の山野辺博之さんから代々受け継ぎ、現在八代目の私が継いでいます。

新興住宅として世帯数が二三五強となりました。年間行事として、新年会、夏の納涼祭、秋恒例の芋煮会がありますが、特に三つ紹介します

一つ目は、町内七〇歳以上の方を招待し敬老会でお祝いをします。カラオケや手品、福祉協議会による詐欺防止の劇等でお互いに親睦を深め合っています。

二つ目は、四月から十一月の間に、二〇班を五つに分け、四班毎に公園内の枝切りや除草作業を行います。きれいな所で子供たちは安心して遊べます。

三つ目は、新たに町内挨拶運動に取り組み、「あいさつで心と笑顔が晴れ渡り」のスローガンのもと町内会員の絆を深めています。

次に、昨年十月十三日未明の台風十九号による被害により、約五十世帯が床上・床下浸水、車の水

没被害も多数ありました。これらを教訓とし、役員・班長・ボランティアの方々で、年度内に防災組織を立ち上げ、次年度発足の計画で進めています。

また、今まで蓋なし側溝、道路上にある電柱、車同士のすれ違い等不便を強いられていた高校北角の信号機から旧保原小跡にかけての道路が、拡幅され、車同士楽に走行できるようになりました。

三町内会長様や地主の方の協力もあり、市の予算も取れ、拡張工事が順調に進み、念願が叶えられました。感謝でいっぱいです。久保町内に住んで良かったと言われるよう、役員の方達と取り組んでいきたいと思っています。



敬老会



新年会

団体紹介 保原町商工会女性部

商工会女性部長 滝澤茂子

保原町商工会女性部は、昭和44年5月に創部され今年度で50周年を迎えました。発足以来半世紀、歴代部長さんはじめ、部員一同手を携えて、それこそワンチームで歩んで来ています。

昭和57年、バレーボール大会で県大会連覇の活躍で、「町民栄誉賞」を頂きました。現在はボウリング大会に変わりましたが、6連覇を果たしています。

保原にも何か名物をと開発研究し製品化した冷凍食品「豆っこ汁」は、平成16年11月、第4回ふくしま特産品コンクールで最高の「県知事賞」に輝きました。豆っこ汁を通して様々な活動の場が広がりました。

学校給食にも使っていたいただいてありますが、もつともつと地元の皆様にも愛される商品に育って欲しいと願い、この10月、パッケージも新たにリニューアル致しました。贈答品にも宜しくお願い致します。

平成22年11月、商工会法施行50周年で活動が認められ、経済産業大臣表彰も受けております。

産業祭、サマーフェスティバル、ももの里マラソン大会等各種イベントに協力しながら、この厳しい現在の状況にある商店街に活力を取り戻すべく日々活動しております。皆様方のご利用を今日も元気に明るく笑顔でお待ちしております。「いらっしやいませ!!」



サマーフェスティバルにて
子供たちと保原よいとご踊り



飯館村民様との交流会

保原の方言 その7

島田 久也

朝げから、おらいのあどり息子が、なづきが痛でつて言うんだわい。ねづはがったら 38度もあんのでびっくりこいだのよ。

「ひんのめえがら あんべえわりんだつたら、もつと早ぐ言わんか」と、おれきめつこしたわい。

げんじよ、ちつともがづがねがったおらがわりんだ。

「医者様させでぐがら早ぐやべ」と言つて連れでつたら、

「何でがづがねがつたんだい。次は早ぐせでこらんしよよ」とおんつあれだ。

←標準語

朝から、家の長男息子が、おでこが痛いって言うんです。

熱を計つたら 38度もあるのでびっくりしました。

「昼前から 体調が悪いんだつたら、もつと早く言わないか。」

と、私は怒ってしまったのです。だけど、ちつとも気が付かなかつた私が悪いのです。

「病院に連れて行くから早く行くぞ。」と言つて連れて行つたら、

「何で気が付かなかつたんですか。次は早く連れてきてください」と注意されました。

※参考資料「方言集」故阿部包昭編集

各種委員会・役員会・全体会

総務企画部会



役員会



環境防災部会



地域づくり部会



社会教育部会



健康福祉部会



あしがき

新年を迎え、新たな気持ちで本号をお送りしております。ご多忙の中、原稿をお寄せいただきありがとうございます。今後とも本振興会にご協力のほどよろしくお願い致します。

問い合わせ先 保原中央自治振興会 住所 保原町宮下二二四(保原中央交流館2F) 電話 〇二四一五六三一一三三 FAX 〇二四一五六三一一三七 メール h-shinkokukai@aurora.ocn.ne.jp